

平成20年度 人材開発研修センター・保健福祉研究センターの管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会 (川崎市中原区上小田中6-22-5)
(2) 指定期間	平成18年4月1日 ~ 平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉職員等に対する人材育成研修の実施に関する業務 ・高齢者の保健福祉の普及啓発、相談指導等に関する業務 ・施設の維持・管理業務

2 管理運営(事業執行)に対する評価

評価項目	平成20年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
①施設及び設備の維持・管理	施設及び設備の維持・管理業務を、一元化して委託した。	施設及び設備の維持・管理は適切に行われている。建物は築20年であり、今後とも効率的かつ効果的な施設及び設備の維持・管理をすること。
②安全管理への取り組み	研修開始前に、オリエンテーションの時間を取り、事故防止等に対する意識の向上を促した。緊急時の夜間連絡網を消防計画に基づき毎年更新した。さらに併設施設と合同で防災訓練を2回実施した。多摩区消防署と合同防災訓練を10月に行い、連絡体制や消防設備等の確認を実施した。	研修生に対する事故防止のための意識付けは重要である。また、防災訓練を併設施設や消防署と合同で行ったことも評価に値する。今後もこのような安全管理への取り組みを行うように努めること。
(2) 利用状況		
①人材開発研修センター	訪問介護員養成研修(2級課程)、介護職員基礎研修、福祉職員向け現任研修、認知症研修、介護福祉士資格取得準備講習、移動支援従事者スキルアップ研修、予防給付マネジメント従事者等養成研修の実施 研修数:40コース 受講者数:1,790人	今年度は新たに移動支援従事者スキルアップ研修を行ったが、今後も人材育成につながり、ニーズの高い研修を重点的に実施すること。
②保健福祉研究センター	福祉情報ミニ講座、福祉用具講座、介護講座、地域講座(出張講座)、介護いきいきフェア、高齢者フットケア教室、認知症講座の実施 研修数:12コース 受講者数:376人	市民ニーズの高い講座を開催するようさらに工夫すること。また、より多くの市民が参加できるようさらなる周知に努めること。

評価項目	平成20年度管理運営の状況	評価及び指導																
(3) 収支状況	(単位:円)																	
① 収支状況	<table border="1"> <tr> <td>収入金額</td> <td>90,634,300</td> </tr> <tr> <td> 指定管理料収入</td> <td>84,610,300</td> </tr> <tr> <td> 利用料金収入</td> <td>6,024,000</td> </tr> <tr> <td>支出金額</td> <td>89,315,107</td> </tr> <tr> <td> 人件費支出</td> <td>39,428,748</td> </tr> <tr> <td> 事務費支出</td> <td>26,414,337</td> </tr> <tr> <td> 事業費支出</td> <td>23,472,022</td> </tr> <tr> <td>収支差額</td> <td>1,319,193</td> </tr> </table>	収入金額	90,634,300	指定管理料収入	84,610,300	利用料金収入	6,024,000	支出金額	89,315,107	人件費支出	39,428,748	事務費支出	26,414,337	事業費支出	23,472,022	収支差額	1,319,193	施設及び設備の維持・管理業務を一元化して委託し、研修や地域への普及啓発活動等の効率的運営に努めており、全体として安定した収支状況となっている。
収入金額	90,634,300																	
指定管理料収入	84,610,300																	
利用料金収入	6,024,000																	
支出金額	89,315,107																	
人件費支出	39,428,748																	
事務費支出	26,414,337																	
事業費支出	23,472,022																	
収支差額	1,319,193																	
(4) その他																		
① 利用者からの意見・要望等への対応	研修受講者に対して、研修後にアンケートを実施し、意見や要望を把握するように努	アンケート結果を研修等に反映するよう努めている。今後は受講者																

	めた。	以外の意見や要望を把握し、研修等に反映できるよう工夫するようにすること。
② 個人情報の保護	講師を招いて、職員に対する研修を実施した。入口にプライバシーポリシーを掲示し、研修開催ちらしにも個人情報を保護する旨の記載を行った。また、受講者に対しても、実習先での個人情報の取り扱いについて指導を行い、事務所内の個人情報の管理についても徹底した。	個人情報の保護については、職員や研修受講者に対して、徹底されており評価できる。個人情報を多く取り扱う施設であるため、情報の漏洩に注意すること。

3 管理運営(事業執行)に対する全体的な評価

施設も老朽化してきているが、維持・管理業務を一元化するなどの確に維持管理を行っている。また、安全管理や個人情報保護に対する取り組みも独自の工夫がなされており評価できる。人材開発研修センターが実施する研修については、受講者にアンケートを実施して、意見や要望の把握に努めている。市民の関心が高いテーマで講座を開催するなど地域への普及啓発を図っている。

4 来年度の管理運営(事業執行)に対する指導事項等

①施設や設備の維持管理については、引き続き効率的・効果的な運営に努めていくこと。②人材育成研修については、受講ニーズの高い研修は定員増や複数回実施など工夫を凝らし、より効果的な研修を実施するよう努めること。③地域への普及啓発につながる情報発信手法の充実や講座の受講率の低いものは見直しを行うよう努めること。④本市の人材確保対策に資するよう本市と緊密に連携しながら事業を実施すること。